

発行
第6号

昭和41年9月1日

発行者 利尻町役場

印刷者 利礼資材印刷部

広報



1966.9.1 No. 6

ま ち の 人 口

— 8 月 —

人 口	8,726人
男	4,428人
女	4,298人
世 帯	1,628

当選の「挨拶

利尻町長 小田桐 清実



私は、昭和三十一年八月七日に迎えられて町長に就任以来早くも四年の歳月

が流れました。

この一期間は、皆さんの善意に支えられて、大過なく重い任務を果たすことが出来ました。このたび、任期満了に伴い、再び立候補を表明して選挙戦にのぞんだところ、無競争で当選の榮譽を荷わせていただき、只々うれしく感激の極みでございます。

災害という大きな試練の前に立たされた私は、ひたむきに、復興のことに専念して参りましたが、町民各位の絶大なる御支援を得て、この回天の難事業も短日の間に完成を見たことは御同慶に堪えません。これから私に与えられた使命は、町財政の健全化を図りながら、その内容を充実させることだと考えております。今回、町民の温かい御支援を得て、引続き町政を担当することに反省し、決意を新たにして、過去の町政執行方針にもとづいて今後の町政を推進して参りたいと存じます。

先ず、第一に水産業の振興であり、住民の大部分は漁民であり、従つ

て漁業をもつて生計を立てており、漁業生産を伸ばして、その生活を豊かにすることが喫緊の要務であると考えています。

そのためには、漁業生産の基盤である港の整備を、早期に完成を図る必要があります。

幸いにも地方港湾である沓形港、第四種漁港である仙法志港はいずれも国の計画どおり進捗しており、又第一種漁港である新湊、蘭泊は、本年度から新規着工を見ることになり、御崎は災害による破損箇所の補修と、ゆん藻を行うことになっており、これらの港を高度に利用する意欲を期待してまいります。

水産業の発展は関連産業の勃興を来とし、中小企業の育成にもなり、商工業の繁栄をもたらす遠因となることは論を俟たない所であります。次には道路網の整備であります。道路は産業、文化の動脈であり、道路がマヒすれば産業、経済が動脈硬化の病状を呈して、総合的な発展が望まれません。

昭和四十五年度までには島内の環状線が完全に舗装されることになっており、残る問題としては冬季間の交通確保のことですが、このことに促進を図らねばなりません。

その次には文教、厚生施設の整備と、内容の充実であります。

利尻町には小学校五校、中学校三校あり、そのうち新湊小学校は三年継続事業で昨年度完成し、各中学校

には特別教室をつくりましたが、その設備の充実を図らねばなりません。また、沓形小学校も老朽度が高いので、ここ二、三年の間に改築しなければならぬと考えています。

厚生施設の面においては立派な病院が出来、隔離病舎も完備されましたが、医師の確保が期せられなければ、その効用を発揮することが出来ないのので、医療体制の確立により、町民の健康を守り、健康で、明るい町にしたいと念願しております。

また、利尻町は離島という特殊な地域にあるため、北海道本土との較差の問題で、どうしても是正の出来ないものに二つあります。その一つは電灯料であり、その二は船賃であります。

電気事業については昭和四十年同四十二年の二カ年度にわたって一億二千万円を投じて配電線、昇圧部門の全面改修を行い、更に明年度は約八千三百万円を費して五百キロワットの内燃機一機を導入して、急激にふえている電力の需要を充たすべくその準備を進めています。このような設備投資に多額の費用が掛り電灯料を低減するまでに至らず、将来は北電移管を目ざして、豊富に、明るくて良質の電気を供給し、併せて電灯料低減の方法を講ずるよう、関係方面に強く要望している次第であります。

船賃についても、国の助成を得て軽減を図るよう、国に働きかけており、航路のスピード化をも併せてその筋へ要請しております。

そのほか、環境を美しくするためゴミ・し尿の処理を能率的に合理化し、観光産業の開発に検討を加え、その施設の整備を促進して、観光客の誘致に努める所存でございます。

わけても、無火災を宣言した我が利尻町に取りましては消防施設の強

化拡充のことが極めて重大であり、今年には消防庁舎や、ポンプ車の移転増設が計画されて、近く実現の運びになっております。

また、公民館活動や、社会福祉の増進など、積極的に推進させて行く所存でございます。以上は極めて大まかな要綱だけを申し上げましたが、町政執行の窮極の目的は、住民と血のかよった町政の執行でなければなりません。

すべての町民が豊かで、しあわせにならなければならぬのですが、ニシンに見離された、加えて沿岸の漁族資源が乏しくなつた今日、必ずしもそうでないことは誠に遺憾であります。

地理的にも、自然的にも、そして社会的にも恵まれない地域にあつて自治の振興ということが容易なことではありませんが、町民の自主的意欲と融和があれば、必ずしも至難ではありません。自治体は民主政治の基盤でありますから、ここに思いを致し自らの姿勢を正し町民と密着して血のかよつた、愛情の町政を執行して新しい町づくりに専念する決意を新にしてまいりますので、欠点だらけの私ではありますが倍旧の御引立御愛顧を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

町議会議員選挙は

九月十日

任期満了による町議会議員の一般選挙は、九月十日に行われることになりました。

九月三日

九月六日

九月十日

即日開票

選挙告示

立候補届出受付

立候補届出締切

選挙投票

即日開票

大火から三年

盛大に復興記念式を挙行 見事な復興に数多くの賛辞

利尻町大火復興記念式は、去る八月一日午後一時二十分から香形中学校体育館で、町知事、高橋宗谷支庁長をはじめ、沖野、坂下、中松の管内選出道議、旭川管林局長など国や道の出先機関の代表、さらに関係者、町民の方々など二百八十名が出席して盛大に挙行されました。

記念式は、開式の挨拶のあと、全員によつて、国歌の斉唱があり、続いて小田桐町長から「このようなさまざまな復興を遂げるに至つたのは決して自力でなく、本日ご臨席の町村知事、衆議院議員松浦先生、管内出身道議会議員、国や道の出先機関をはじめ、全国津々浦々から温かい義援金を寄せられた数多くの人々のお蔭であり、今後は、豊かな町づくりと、無火災を宣言します」との式辞があり、復興状況報告のあと、罹

災者の救援、復興資材の輸送、都市計画、工事担当者など復興に尽力せられた団体、個人九十四名に感謝状が贈られました。

そのあと町村知事から「不慮の大火に見舞われた利尻町ではあるが、住民が一致協力して見事に復興されたことは驚くべきである」と祝辞があり、続いて来賓多数から復興を祝う言葉が述べられ、祝電を披露して式を終りました。

利尻町大火

殉難者追悼式

いたましい犠牲者二人

利尻町大火で殉難した故長谷川輝三、同手代森熊雄両氏の追悼式は、

利尻町に青年の組織誕生

香形に「青年会(仙法志)に、」は

まなす会」利尻町香形地区では青年の組織を作ることには数年前からの念願であり、仙法志には昨年八月まで連合青年団として組織があつたが、近年の漁業不振とそれに伴う出稼の増加、団員の減少等、時代のうつりかわりに対処出来ず、とうとう解散の羽目に至つたことは、本町の将来を担う青少年を健全に育成する上からも実に憂慮に堪えないものがありました。

本年度は本町社会教育の重点目標に青年の組織結成と育成を取り上げ町民皆さんの御理解と御協力をいただいて、結成を見ることが出来まし

復興記念式の八月一日午後三時三十分から香形日出町の大安寺で両遺族をはじめ、関係者約百五十名が出席してしめやかに行われました。
長谷川輝三さんは、大火の際家財を運び出す途中煙りにまかれて死亡した香深消防団員の手代森熊雄さんは、応援消火作業中、突然焼け崩れ

てきたブロックに頭部を打たれ、ヘリコプターで札幌医大病院に入院、死亡したもので、このいたましい犠牲者の霊に対して、小田桐町長は「両氏の霊を慰める意味からも再び大火を繰り返さないことを誓います」と追悼文を読みあげ、遺族の涙をさせました。

たことを厚く御礼申し上げます。

香形地区では、市街地における各職場と商工会を主軸として、青年代表者会議を開き、結成についての話し合いを進めた結果、是非若人の集いの場を作り度いと意向が強く、これを早速結成準備委員会に置き替へ結成の準備を取り進んだ結果、七月八日利尻町青年会(会長関果)会員数九四名によつて結成されました。仙法志地区については、組織解散後、約一ヶ年間、空白のままに過して来たことが青年一人一人の上に淋しさがあつたようので、準備委員会において、さつそく結成の手はずが整えられました。

仙法志地区には漁業従事の青年が大事なので、出稼から帰省し一番青年の多い時期を目標にし、八月に結成をするべく準備を進めた結果、去る八月八日利尻町仙法志はまなす会(会長大島正治)として、会員数五四名により結成され、この地区については、青年会あるいは青年団として経験して来た人達が殆んどなので以前のイメージを取り去り心身共に刷新された感覚で活動するよう、名称も「はまなす会」として発足したのであります。

本町青年組織を作るよう努力をしたが両地区間の地理的条件等により、地区別に組織を作り上げたのであります。しかし、飽くまでも両地区青年が共に協調し新しい町づくりに果すべく組織間相互の連絡協調の場をつつて行かなければならないと考えております。

今後この両地区青年の組織が新しい時代感覚を吸収し、新しい自覚の上に立つて、青年期とその澆つらつさを未来に伸して行くであろうと期待しております。

更に町民皆さんの一層の御指導と御支援、御協力により新時代に対処し得る青年組織に育成していただきますようお願いして止みません。

離島航路

運賃割引について

すでにご承知のとおり、稚内利礼運輸の連絡船運賃が、四月から二〇%程度値上されました。しかし、離島住民に限り、この値上げ分を割引することになつております。

割引券は、役場経済係と支所で行っておりますから、旅行の際は、あらかじめ役場か支所の窓口でお受取り下さい。ただし、一等と鉄道との共用券の場合は割引されません。

区 間	二等運賃	割引運賃
香形?稚内	六八〇円	五五〇円
仙法志?稚内	七五〇円	六一〇円
鷺泊?稚内	五五〇円	四四〇円

一家のサレ

工藤恒美



指導体制の上では名実共に全町一

昭和四十一年度の

公共事業順調に進む

今年度港湾漁港修築費は

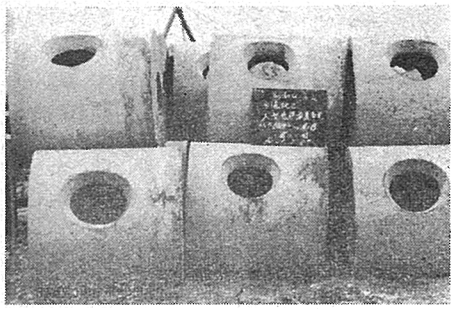
一億四千七百万円

ことしの公共事業は、年度はじめ政府が景気回復のための早期着工準備をしていたので天候不順にもかかわらず順調に工事が進んでおります。

▽港湾・漁港

●**杓形港(地方港湾)**
北部日本海地域の基幹港湾である杓形港の修築事業は、毎年順調に工事が伸びており、ことしは東防波堤の築設などで工事費は、七千三百三十万円と年々大型になっております。

●**仙法志漁港(第四種)** 仙法志堆の未開発魚田の開発と、



製作された大型魚礁

●**第四種漁港**の目的である避難港としての機能を發揮するため整備をいそいでいるこの港は、ことし東防波堤の築設、かさ上げなどで工事費は、五千四百万円となっております。

●**新湊漁港(第一種)**

早くから南防波堤などの築設を要望してきたこの港は、ことし、修築事業が認められ、新規着工しました。修築事業費の総額は一億二千六百万円ですが、ことしの工事費は、南防波堤の築設費八百万円となっております。

●**蘭泊漁港(第一種)**

昭和三十八年に、漁港の指定を受けたこの港は、ことし早くも改修事業が認められ、新規着工しました。改修事業費の総額は七千五百万円ですが、ことしは、北防波堤の築設費五百万円となっております。

●**御崎漁港(第一種)**

この港は、ことし、道の単独事業と国の災害復旧事業の両方の予算がつき、濶内のしゅんせつ、防波堤の改修など工事費七百三十七万円となっております。

▽**道路**

道路の改修は、道々六件、町道一件計七件の路線の舗装や改良が行われております。
稚内土木現業所利尻出張所の努力で、杓形市街の舗装をはじめ、一部

を除いては、ほとんど工事が完了しております。
なお、町内関係の道路工事は次のとおりです。

●**道々関係**

- (1)杓形市街舗装工事
- (2)杓形港線舗装工事
- (3)新湊、栄浜舗装工事
- (4)仙法志市街改良舗装工事
- (5)日出町地区改良工事
- (6)御崎冬雪害工事

●**町道関係**

- ▽**海岸保全**
杓形市街舗装工事
毎年継続実施しているこの事業はことしは、次の個所が工事を行っております。
- (1)久連海岸侵食対策工事
- (2)長浜
- ▽**水産**
ことしから利札海域に、大型魚礁が投入されることになり、杓形の種富町で製作しております。

投入個所は、杓形港の沖合八・二キロのところで、いままでに二千三百基が投入を終り、ことしは六千四百基の魚のアバウトを海に入れることになっております。
明年も、同じところに、おなじ数量を投入します。

このほか水産関係では、杓形、仙法志両漁協が行う、昆布礁などを作る漁場改良事業があります。

▽**治山**

治山事業は、神居アキンオル沢のえん堤工事、栄浜の防風林造成などが行われております。

▽**航路標識**

栄浜崎の台地に、いま灯台の建設をいそいでおります。
高さは十五メートルの白灯台で、光力は八千五百カンテラ(杓形灯台の約二、五倍の明るさ)です。

▽**住宅**

ことしの住宅建設は、泉町団地に道営住宅(ブロック建て、一戸三十三平方メートル)八戸、新湊と久連小学校に町が、教員住宅一棟づつを新築中です。

ことしの住宅建設は、泉町団地に道営住宅(ブロック建て、一戸三十三平方メートル)八戸、新湊と久連小学校に町が、教員住宅一棟づつを新築中です。

▽**観光**

町内の観光施設としては、ことしはじめて杓形崎公園の団地造成がとりあげられ、展望台、公衆便所、駐車場などが年内に完成します。

▽**消防**

杓形地区では、消防本部庁舎の改修と車庫の新築や、仙法志地区の車庫の新築は九月上旬に着工の予定で年内に完成します。

▽**その他**

以上のほかに、電気漁連が事業を施工している配電線改修工事や町単独事業の栄浜船揚場、神居船捲施設などの事業があり、何れも年内に完成します。

秋の大掃除

私たちの身のまわりや家の内外をいつも清潔に保つことは、健康で快適な生活を過ごすうえにも非常にたいせつなことです。ことしも秋の大掃除の季節となりましたが、寒い冬がやってくる前に、秋晴れの日を選んで家の内外の清掃をし、環境の改善をいたしましょう。

大掃除をやる準備としては、▼予定日時を定め家族全員が参加できるようにしましょう。▼掃除道具や薬剤(DDT主剤)の粉末薬剤、クレンジール、石鹸などを、家の大きさや従事人数に応じて用意しましょう。▼掃除をやる順序をあらかじめ定め、もつとも能率的に運ぶよう戸棚、たんす、たたみ、日ごろ棚の上などにある使わないものもできるだけ戸外にだして乾燥をはかり、緑の

下の掃除は床板のあけられるところをあけ床下のクモミクを除去します。

屋外では、特に下水、流し場、ごみ溜、便所などをよく清掃し薬剤を散布するようにいたしましょう。また、秋はねずみ駆除の好季節でもあります。駆除は常に清潔整頓に努め、ねずみの出入する箇所をふさぎ、そのあと薬剤器具を使用することが合理的です。薬剤はクマリン製剤や、硫酸タリウム製剤が安全で使いやすいようです。駆除作業は、根気よくやり毒さや器具には、ねずみの大好物の生食用油を利用することがこつです。

豊かな住みよい漁村づくりを



- 明るい生活環境をつくる
- すぐれた後継者を育てる
- 海の資源をふやす

町村知事利尻島を視察



杓形保育所を訪れ、子どもたちにプレゼントを手渡す

町村知事は八月一日利尻町で行なわれた杓形大火復興記念式に出席のため、利尻島を訪れた。記念式典のあと、大火後の復興した市街地や保育所を視察した。



大火後、区画整理され、復興した杓形市街地を視察

道政レポート

利尻町公民館で 図書設備のため献本を お願しております みなさんの御協力を

利尻町の公民館が開館し、九〇日余りの間に使用件数五〇〇件近くに達しました。

住民の公民館活用に対する認識が高まってきたので、更に内部設備の充実を図り、より多くの人に有効に利用していただくように努力しております。

此の度、公民館では図書を備えつけ、児童生徒並に一般町民に一層親しんでいただく度いと考え、広く町民の皆さんから古書や文獻、皆さんの書庫や書棚で読まれずに眠っている本、既に熟読されて不用になった本、又は大切な蔵書の中から献本をしていただくよう呼びかけております。

公民館の風光明媚な図書室で多くの人達に活用し、親しんでいただく為に一戸一冊以上献本をお願いいたします。

献本は利尻町教育委員会と仙法志

大火復興記念式



利尻町杓形大火復興記念式であいさつする知事

支所で受け付けています。皆さんの心からなる御協力をお願いいたします。

秋の火災予防

ことしもまた、ストーブを取り付ける季節になり、春の乾燥期に次ぐ火災の多いシーズンとなりました。建造物火災ですが、これを原因別にみますと、毎年のように、煙道、煙筒が一番多く、これについてストーブたばこ、火遊び、こんろなどの順になつていきます。また、時間的にみると、夜間より昼間の方が多く、そのほとんどが火を扱う人の不注意や不しまつによるもので、いわば人災といえます。

したがって、私どもの職場や家庭を火災から守るため、次ぎの四つの事項を「防火の四チエツク」として推進することにしました。これを道民の一人一人が、職場や家庭を問わず火気を取り扱う際、それぞれの責任で確実に励行することに心がけ、ぜひとも火災をなくしたいものです。そして、この運動を機会に、私どもの日常生活に欠くことのできない「火」について、認識をあらたにしたいものです。

防火の四チエツク

- ▽場所が危険でないか
- ストーブや火熱器具を使う場所は広いか。
- 燃えやすいものがそばにないか。
- 整理整頓がゆきとどいていないか。
- ▽器具は安全か。
- ガスコロのゴムホースがこげていたり、古くなつてヒビが入つたり、締付部にゆがみがないか。
- 電気器具のコードの被ふくがいたんで電線がでていないか。
- コンセントやスイッチが破損してないか。
- 電気アンカの過度調整器、石油ストーブのバルブに故障はないか。
- ▽使い方は正しいか。

ご存じですか!! 郵便貯金の便利な利用法

「郵便貯金本人票」

郵便局では、貯金の払いもどしなどの請求を受付けたときに、正当な預金者からの請求であるかどうかを調査しますが、このようなどき「郵便貯金本人票」を持つていと非常に便利です。

即ち、郵便貯金本人票は本人であることが郵政省が証明したもので、これを持つていと全国のどの郵便局でも預けただけの貯金を自由に商用やレジャーなどで旅行される方などからは多額の現金を持ち歩かなくてもすむので、安全で快適な旅行がたのしめると、たいへん喜ばれております。

また、この方法を利用すると、万一貯金通帳をなくしたり盗難にあつたようなときでも、貯金の払いもどしにあつて郵便局では必ず本人票の提出を受け本人であることを確かめてから支払うことになつていて、貯金の盗難防止にもなり一石二鳥の効果がある安全便利な利用法です。

なお、本人票の利用申込みはこの郵便局でも扱っておりますし、料金はかかりません。

- 石油ストーブに給油するときや持ち運ぶするときは、必ず火を消しているか。
- 一つのソケットからタコ足配線していないか。
- 石油コンロや電気コンロを、たみの上で、じかに使っていないか。
- 煙筒掃除は適宜行なつていないか。
- あとしまつは完全か。
- 使つたあとの電気アイロンやコンセットの差込みは抜いてあるか。
- ガスコロを使つたあとは、元栓をしめてあるか。
- 外出するとき、寝るときは、火の気が残っていないか。